Osaka University Knowledge Archive

Title	食空間「聚楽庁」 : 現代キッチンシステム提案
Author(s)	侯, 芳芳
Citation	デザイン理論. 2012, 59, p. 110-111
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/53562
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

食空間「聚楽庁」
── 現代キッチンシステム提案 ──

侯　芳芳／京都精華大学大学院

1．発表要旨

「聚楽庁」というテーマで，中国の伝統文化と現代文化を取り合わせて，より現代中国人の習慣，中国の家庭と合うような現代住居の食空間「現代キッチンシステム提案」を考えた。

自分の故郷天津を研究地として，アンケート調査，現地調査を行い，分析して，結論を導いた。それは，中国では，家族を大事にすることである。週末，年末は一緒に料理を作る，食べる，団欒するという食習慣がある。しかし，「一人っ子政策」による核家族化に加え，さらに経済的に豊かになることに伴って，外食が増え，家族の距離が遠ざかっている。そして，家族で一緒に料理をする機会が減り，それにより，伝統的料理の仕方が若い人に伝わらなくなっている。

地元天津での現地調査をした結果，キッチンは一つの小さい空間になるプランが多いということで，それではなく，もっとダイナミックな提案が必要ではないかと考えた。私自身として「食空間」は生活の中心になるべきと考えている。ただし，中華料理を作るため，油煙を控えることにより，もっと家族全員が楽しく，コミュニケーションもよくとれる中国らしい「食空間」の提案を考えた。

2．研究背景

2-1．良い点（伝統面において守るべき，引き継ぐべきところ）

⑴　中国「食文化」：

昔から「食べる」ことを大事にしている。「食」を中心として，家族間のコミュニケーションをよくとる。（例：水餃子を作るなど）

⑵　中国「家庭文化」：

昔から「家族」を大事にしている。週末，年末は一緒に団欒するという習慣で，家族間のコミュニケーションをよくとる。

⑶　中国キッチンの歴史：

中華料理を作るため，中華鍋や中華包丁など専用の道具を使う。しかし，炒め料理が中心，油煙が多く，キッチンという空間はいつも家の奥に置かれ，小さく，狭く空間が多い。

しかし，以下は欠点ではないですか？

2-2．欠点（現代面において改善すべきところ）

⑴　社会問題：

・「一人っ子政策」による少子化，核家族の形成，祖父母との別居，家族は疎遠になっている。

・現代社会は忙しく，夫婦は共稼ぎなので，交流は少なくなっている。家庭での料理や家事をすることを契機に，夫婦は共同でするべきである。お互いに，話をしながら，楽しく料理を作り，夫婦間のコミュニケーションを増進する。

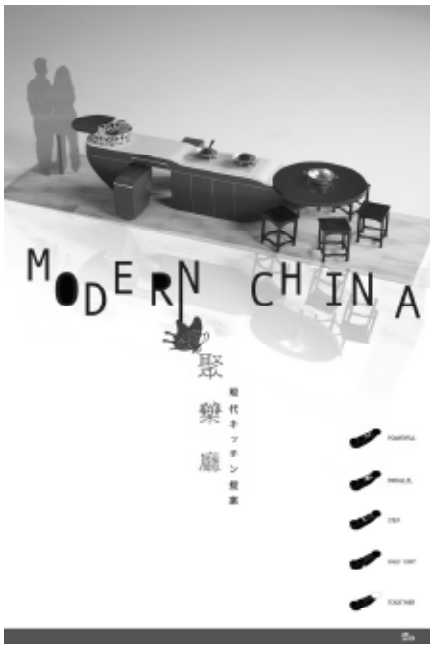
⑵　経済発展における問題：

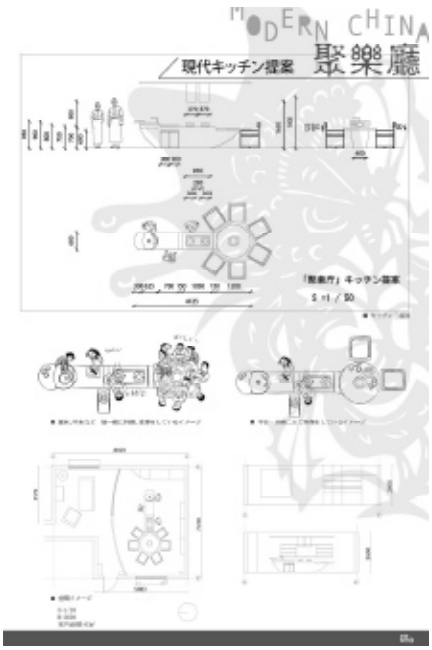
ゆとりができ，住空間が広くなる一方，飲食文化が変わり，家庭で料理をせずに，外食が流行するようになった。家族間のコミュニケーションが取れなくなっている。

3．提案目的

「食空間」は生活の中心になるべきと考え，

伝統的暮らし方と，伝統的料理の仕方を守ることにより家族間のコミュニケーションをより良くする。ただし，中華料理を作る過程の，油煙を控えることにより，もっと家族全員楽しく暮らし，中国らしい「食空間」の提案を考えた。



4．提案意義

社会問題をデザインで解決，そして伝統を生かした現代のライフスタイルを推進する。キッチンシステムの普及により地域の伝統文化の保全を図りつつ，新しい生活文化を育成する可能性に寄与する。